

【資料2】

＜第3期山武市地方創生総合戦略（原案）に関わる意見等について＞

1. 令和6年度第2回山武市まち・ひと・しごと創生戦略会議での質疑・意見等結果

日 時：令和6年12月20日（金）14時00分～15時10分

出席委員：並木委員、鈴木委員、関委員、坂本委員、諏訪委員、森委員、成川委員、田中委員、上大川委員（座長）【計9名】

欠席委員：川口委員、大高委員、齊藤委員、内山委員、宇佐見委員、山本委員【計6名】

No.	質疑・意見等	内容	当日の回答概要	検討結果及び反映状況
1	国立社会保障・人口問題研究所の人口推計について	人口推計はいつの人口データを使用しているのか、また、国立社会保障・人口問題研究所の推計は何年ごとに更新されるのか。	国立社会保障・人口問題研究所では、令和2年国勢調査データを基に、各市町村における人口推計を作成している、また、更新ペースとしては、国勢調査ペースである5年に一度更新されている旨、回答。	《 質疑応答 》
2	施策4-1におけるKPIの修正について	施策4-1のKPIである、「都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度」について、基準値と目標値が共に57.0%と設定されており、特別高い数値ではないため、目標値を引き上げるのはどうか。	第3次山武市総合計画では現状維持としてめざそう値が設定されており、現状の維持、管理に努めるため、本総合戦略においても現状維持を目標値として設定した旨、回答。	原案から修正なし

【資料2】

No.	質疑・意見等	内容	当日の回答概要	検討結果及び反映状況
3	施策4-2におけるKPIの修正について	施策4-2のKPIである、「生活環境に関する苦情件数」について、基準値と目標値が共に231件と設定されており、目標値を引き下げるのはどうか。	第3次山武市総合計画におけるめざそう値を設定した際の考え方と揃え、現状維持を目標値として設定した旨、回答。	原案から修正なし
4	生活環境に関する苦情相談について	生活環境に関する苦情相談はどこへ相談したら良いか。	建設環境部環境保全課が担当部署となっている旨、回答。	《 質疑応答 》
5	第3次山武市総合計画との整合性について	第3次山武市総合計画の計画期間は令和8年度までだが、本総合戦略は計画期間が令和11年度までとなっている。その期間のずれにおける目標値の設定はどのように勘案したか。	全体的な考え方として、第3次山武市総合計画において向上を狙っている指標については、その後の期間(令和9~11年度)も継続して向上すると仮定し、設定しました。また、総合計画において現状維持をめざそう値としている指標については、同様に現状維持と設定した旨、回答。	《 質疑応答 》

【資料2】

No.	質疑・意見等	内容	当日の回答概要	検討結果及び反映状況
6	施策4-2におけるKPIの数値について	山武市社会福祉協議会では、「心配ごと相談」を実施しており、一部相談については市へも随時連絡している。施策4-2のKPIである「生活環境に関する苦情件数」に関して、心配ごと相談に関する件数はどう考えられているのか。	本指標については、環境保全課で受け付けた、公害苦情の件数を数値としている。そのため、本指標に関しては、生活相談等の件数は含まれていない旨、回答。	<p style="text-align: center;">《 質疑応答 》</p>
7	第3期山武市地方創生総合戦略の変更点について	現行の第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略から、(仮称)第3期山武市地方創生総合戦略で数値目標やKPIはどの程度変更しているか。	<p>第2期から抜本的に改訂し、多くの指標を新たに設定した。</p> <p>以下、現行の総合戦略から継続して指標として設定しているもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標1数値目標 「転入転出者数」 ・施策1-1KPI 「従業員一人当たりの製造品出荷額」 「成田空港で働く市内従業員数」 ・施策1-2KPI 「年間観光客入込数」 <p>上記の旨、回答。</p>	<p style="text-align: center;">《 質疑応答 》</p>

【資料 2】

No.	質疑・意見等	内容	当日の回答概要	検討結果及び反映状況
8	施策 1-1 における K P I の修正について	<p>施策 1-1 の K P I である、「成田空港内で働く市内従業員数」について、令和 10 年度末までに成田空港の C 滑走路及び、B 滑走路の延伸が完了し、機能強化に伴い従業員数も増加することが見込まれるため、目標値をさらに高く設定することができるのでは。</p>	<p>指標担当課と改めて検討する。</p> <p>目標値の設定として、第 3 次山武市総合計画ではコロナ禍前の 600 人程度を上回る 700 人をめざそう値として設定し、本指標については今後どの程度増加するか見込むことが困難である点から、総合計画と合わせた形で目標値を設定した旨、回答。</p>	<p>令和 10 年度末に機能強化工事が完了し、その後航空機の離発着数が増加する見込みではあるが、現段階では不確定である。また人材不足の影響により、従業員の募集をかけても集まりづらい状況であることから、今後は、省人化に向けた整備を行うことも見込まれる。</p> <p>これらの点から、<u>具体的な目標値の設定が困難であり、本総合戦略においては、原案から修正なしと設定し、目標値の達成及び、上回ることを目指すとした。</u></p> <p>また、今回いただいたご意見は、令和 7 年度から策定を開始する、次期山武市総合計画において参考とさせていただきます。</p> <p>また、第 4 期地方創生総合戦略など、今後策定する計画では、更に上回る目標も検討する。</p>

【資料2】

No.	質疑・意見等	内容	当日の回答概要	検討結果及び反映状況
9	成田空港との関係強化について	<p>成田空港近傍という立地を活かし、次世代の方たちが空港の仕事をもっと学ぶ機会があると良いのでは。</p> <p>また、英語教育や空港シャトルバスなど、今後強化していく必要があると思われるが、市の考え方はどうか。</p>	<p>現在運行している空港シャトルバスについて、松尾駅との連携をはじめとした利用しやすさという点も重視していく必要があると考えている。</p> <p>また、県内の高校生を対象として、成田空港活用協議会と連携した講座なども実施している。</p> <p>これらの取組等を通して、成田空港に興味を持ってもらうことが重要だと考えている。</p> <p>その他、市では千葉商科大学と連携した地域振興に取り組んでおり、今後は、大学や成田空港関連の団体等との連携を強化していく必要もあると考えている旨、回答。</p>	<p>《 質疑応答 》</p>
10	成田空港との関係強化について	<p>多古町にて、様々な会議体に参加したが、必ずNAAの職員が所属しているほど、空港関係施策に注力していた。</p> <p>山武市でも空港と学校の連携等を通し、空港関連への就業につながる取組の実施を目指してほしい。</p>	<p>《 意見のみ 》</p>	<p>《 意見のみ 》</p>

【資料 2】

No.	質疑・意見等	内容	当日の回答概要	検討結果及び反映状況
11	施策 1 - 2 における K P I の数値について	施策 1 - 2 における K P I 「年間観光客入込数」における目標値が約 230 万人と設定されているが、どのような要因で増加すると見込んでいるか。	コロナ禍以前は 200 万人程度で推移しており、現在はコロナ禍で落ち込んだ数値が回復途上にある。 今後、周知広報の施策等により、コロナ禍以前の数値まで回復させると見込んでいる旨、回答。	《 質疑応答 》
12	公共交通について	乗合タクシーの予約が取りづらいという話を耳にするが、どのような状況か。	予約が取りづらいという声をいただいていたため、令和 6 年 6 月より A I を活用した新たな予約システムを導入し、より効率的な配車等を行うことで、以前よりも予約が取りやすくなったと思われる。	《 質疑応答 》
13	松尾地域の展望について	今後の松尾駅周辺や、松尾地域の展望について、市ではどう考えているか。	令和 4 年 4 月より旧松尾町地域が過疎地域として指定されている。市では過疎地域持続的発展計画を策定し、松尾地域の構想を作成した。 また、令和 6 年 4 月より、企画政策課内に地域構想推進係を設置し、成田空港の機能強化に伴う企業誘致や、松尾駅の利便性向上、空き公共施設の利活用等を通し、松尾地域の活性化を推進していく。	《 質疑応答 》